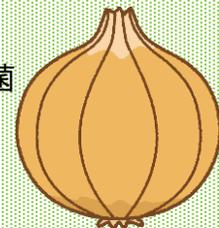


タマネギの病害虫防除対策



タマネギでこれから発生しやすい病害として、べと病や白色疫病、灰色かび病、灰色腐敗病の他、細菌による軟腐病や腐敗病などがあります。

また、害虫では、ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、アブラムシ類などが年次により発生しますが、天気が安定して気温がやや高めの方に発生しやすい傾向があります。

薬剤を散布する際には、下記を参考にして収穫前日数に注意し、株元や葉全体に丁寧に散布することが重要です。

表1 タマネギ 各種病害の主な防除薬剤

(令和7年2月4日現在)

薬剤名	病害名						希釈倍数	使用時期 / 使用回数	分類
	べと病	白色疫病	灰色かび病	灰色腐敗病	軟腐病	腐敗病			
オロンディスウルトラ SC	○						2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	40と49
シグナムWDG	○	○	○	○			1,500倍	収穫7日前まで / 3回以内	7と11
ジマンダイセン水和剤	○		○	○			400~600倍	収穫3日前まで / 5回以内	M03
		○					400~500倍		
ジャストフィットフロアブル	○	○					3,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	40と43
ダコニール1000	○	○	○				1,000倍	収穫7日前まで / 6回以内	M05
ホライズンドライフロアブル	○	○					2,500倍	収穫3日前まで / 3回以内	11と27
リドミルゴールドMZ	○	○					500~1,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	4とM03
			○	○			500倍		
セイビアーフロアブル20			○				1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内	12
				○			1,500倍		
パレード20フロアブル			○	○			2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7
ベルコートフロアブル			○	○			1,000倍	収穫前日まで / 5回以内	M07
ロブラール水和剤			○	○			1,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	2
カスミンボルドー					○		1,000倍	収穫7日前まで / 5回以内	24とM01
スターナ水和剤					○		1,000倍	収穫7日前まで / 5回以内	31
バリダシン液剤5					○	○	500倍	収穫3日前まで / 5回以内	U18
Zボルドー	○						500倍	- / -	M01
					○		500~1,000倍		

注) 分類欄には、FRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 タマネギ 各種害虫の主な防除薬剤

(令和7年2月4日現在)

薬剤名	害虫名				希釈倍数	使用時期 / 使用回数	分類
	ネギアザミウマ	ネギハモグリバエ	アブラムシ類	タマネギバエ			
アグロスリン乳剤	○*	○			2,000倍	収穫7日前まで / 5回以内	3A
グレーシア乳剤	○*	○ハモグリバエ類			2,000~3,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	30
コルト顆粒水和剤	○	○			2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	9B
スミチオン乳剤	○*				700~1,000倍	収穫21日前まで / 2回以内	1B
			○		1,000~2,000倍		
ダイアジノン乳剤40	○*				700~1,200倍	収穫21日前まで / 2回以内	1B
		○			1,000~2,000倍		
			○	○	1,000倍		
ディアナSC	○*	○			2,500~5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	5
トクチオン乳剤	○*	○			1,000倍	収穫7日前まで / 4回以内	1B
ベネビアOD	○*				2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	28
		○ハモグリバエ類			2,000倍		
モスピラン顆粒水溶剤	○*				2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	4A
リーフガード顆粒水和剤	○	○			1,500倍	収穫3日前まで / 3回以内	14

注) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

*はアザミウマ類での登録

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。